

平成23年度 センスアップ講座

いわみ高齢者大学開講



5月25日（水）、平成23年度センスアップいわみ高齢者大学の開講式と第1回目の学習会を開催しました。

開講式では、榎本武利岩美町長と寺西健一岩美町教育長、湊孝明岩美町社会福祉協議会会長を来賓にお招きし、皆さんにご挨拶をいただきました。

第1回の学習会では、湊社会福祉協議会会長に「禎子の真実」と題してご講演をいただきました。講演の中で、昭和20年に広島で被爆し、わずか12歳で亡くなった佐々木禎子さんのお兄さんが、妹の被爆から亡くなるまでの様子を語り部として語っているテープ（CDですが）を聞き、会場からは自然とすすり泣くような音も聞こえました。皆さんそれぞれに当時を思い出したり、話に共感したり、感慨もひとしおだったのではないのでしょうか。

自主学习クラブ活動は郷土探求、フラダンス、ハーモニカ、カラオケ、ニュースポーツ、実用書道、民謡の7クラブを開設しています。

さて、今年の学級生はいつもより少なく、112人（開講式当日現在、その後少し増えています）ですが、新たな顔が加わり喜ぶ顔、いつもの顔が見えず心配そうな顔と、こちらも感慨があったようです。なにはともあれ、今年も一年間、皆さん元気でセンスアップしましょう。

公民館 だより

No.408

問い合わせ先

岩美町中央公民館

☎72-0510 FAX73-1440

料理講習会も始まりました



6月15日（水）、第1回目の料理講習会を開催しました。

参加者は9人と少しさびしかったです。第1回目のメイン料理はパエリアでした。今回は「台所で世界旅行」と題しただけあって、イタリア風から東南アジア風、日本風とバラエティーに富んだメニューとなりました。講師さんの苦心に感謝です。

食べた感想？なかなか家でパエリアは食べませんからねー！でも、美味しかったです。さすがは家庭の料理人、参加者の方の腕も侮れませんね。

さて次回は・・・左のページにありました。次回こそたくさんご参加ください。

岩美川柳会

ブームには見向きもせず金貯める
小西 幸安
胎児にも音楽聞かせ待っている
飯野 菖子

その音は止めて下さい胃が痛む
北村 稔

間接に見たり聞いたり過去を知る
田口 清帆

丁寧に埋めても過去は胸に棲む
石谷美恵子

震災で過去の戦禍を思い出す
山下 節子

過去帳にトラ・クマ・シカ・が祀られる
山下 蟹郎

裏街道生きて他人の情に泣く
山田 たぬ

裏道を知り人間の味が出る
石谷 忠良

松かさ短歌会

寒き夜の太極拳のいい汗に帰る
頭上の北斗七星
城戸千鶴子

ぬか背負い小さき竹の子店先に
客を待ちおりなにかわいい
安木 和代

べにかなめ新芽明るく萌え出で
て紅く染めゆく庭の垣根を
横山 芳子